

患者報告型アウトカムの活用

東北大学大学院医学系研究科 緩和ケア看護学分野 修士課程

倉橋 美岬

本日の内容

- イン트로ダクション
～患者評価の必要性～
- 患者報告型アウトカム IPOS
 - IPOSとは
 - IPOSの評価方法
- IPOSを評価するタイミング
～POIとAKPS～
- 研究について
- 評価の実際

イントロダクション

～患者評価の必要性～

緩和ケアとは

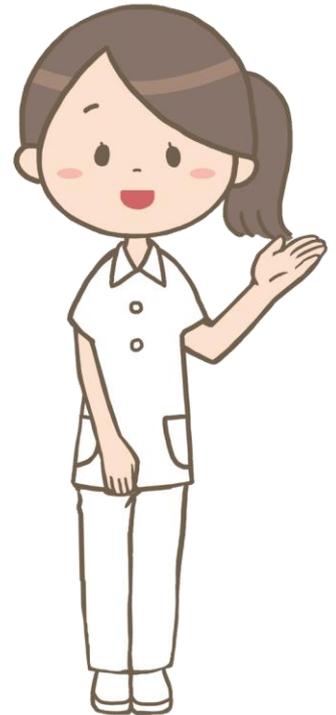
生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者・家族に対して、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通してQOLを向上させるアプローチ

(WHO 2002年)



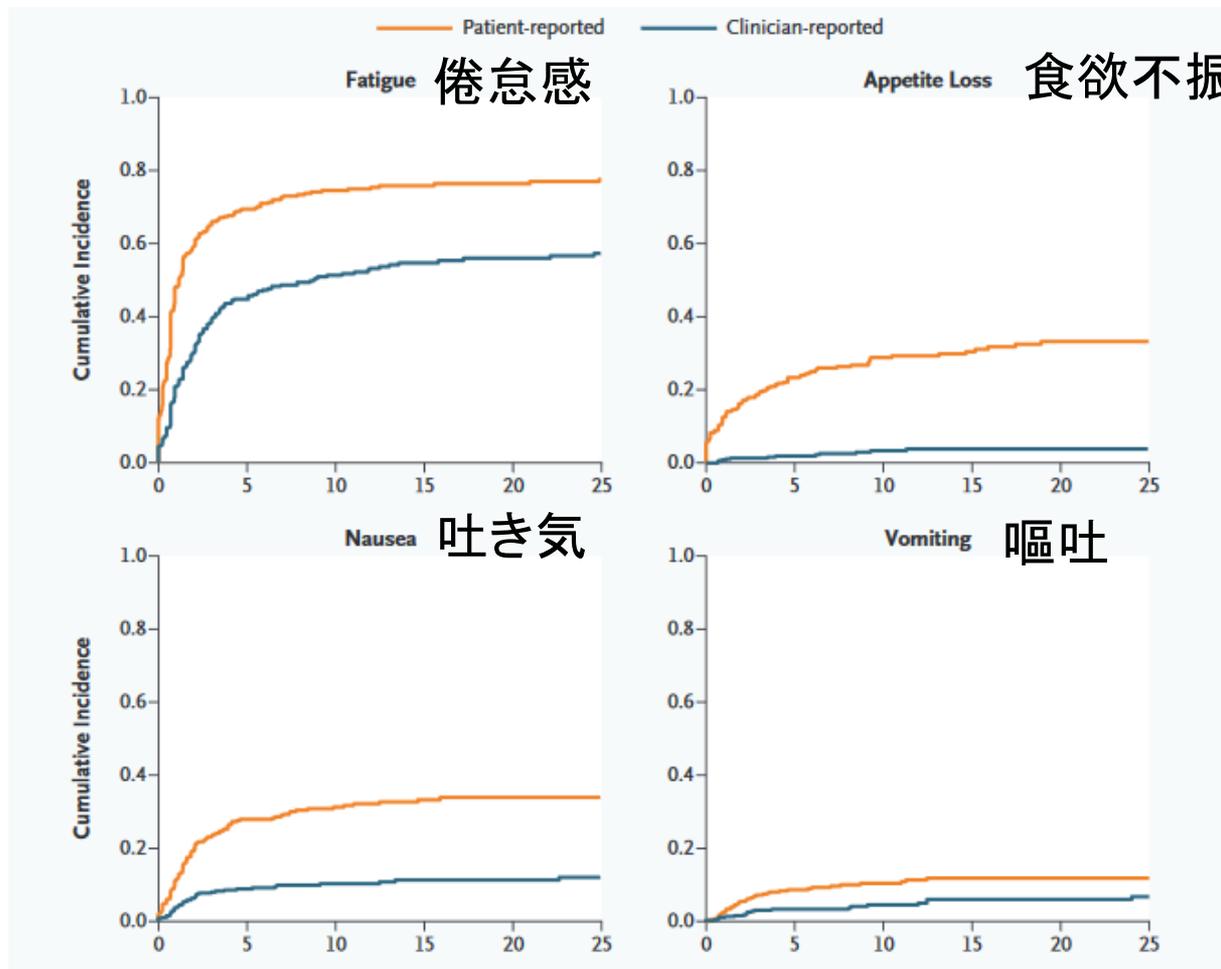
問題の評価の方法

- 客観的評価
医療者など、他者から見た評価
- **主観的評価**
患者さん自身が、自分の問題を評価



なぜ主観的評価が大事？

医療者は患者の症状を過小評価する



患者
医療者

特に、倦怠感、食欲不振、吐き気など目に見えない症状を、医療者は過小評価する傾向にある

痛みなどの症状、気がかりなどは**個人的な経験**



患者の体験、患者の声を聴くことが大切

→ **患者報告型アウトカム:PRO**

「臨床家その他の誰の解釈も介さず
患者から直接得られた
患者の健康状態に関するあらゆる
報告」(FDA,2009)

このセクションの復習

1. 「緩和ケアでは生命を脅かされている患者さん・家族の（ ）を予防し和らげることでQOLを向上する。」
（ ）に入るのは？
2. 痛みなどの症状や気かりは【1.過大評価 2.過小評価】されるため、【1.客観的評価 2.主観的評価】が大切である。
【 】内で正しいのは？
3. 他人の解釈を介さず、患者から直接得られた健康状態に関する報告を（ ）という。
（ ）に入るのは？

患者報告型アウトカム
緩和ケアの評価ツール

IPOS

(Integrated Palliative care Outcome Scale)

IPOSとは

- PRO評価ツールの1つ
- 評価は0～4の5段階なので回答しやすい
- 評価項目に身体面、心理面、社会面、スピリチュアルな面を含んでおり、全人的なアセスメントができる
- 医療者版もあるので、自分で回答できない患者にも使用できる
- 医療者版は家族介護者も日常で使用できる



IPOS日本語版：患者版（3日版）

1. IPOS の評価

※すべての質問は「この3日間」とありますが、答えにくい場合や病状に変化がある場合は、「今日の状況」で回答していただいても構いません。

Q1. この3日間、主に大変だったことや気がかりは何でしたか？

1.
2.
3.

Q2. 以下はあなたが経験したかもしれない症状のリストです。それぞれの症状について、この3日間、どれくらい生活に支障があったか最もよく表しているもの一つだけチェックしてください。

※どのくらい身体的に、または気持ちのうえで負担となっているかをお答えください。

	全く支障は なかった	少しあった (気にならな かった)	中くらい あった (いくらか 支障がでた)	とても あった (大きな支障 がでた)	耐えられなく らいあった (他のことを考えら れなかった)
痛み	0□	1□	2□	3□	4□
息切れ (息苦しさ)	0□	1□	2□	3□	4□
力や元気が出ない感じ (だるさ)	0□	1□	2□	3□	4□
吐き気 (吐きそうだった)	0□	1□	2□	3□	4□
嘔吐 (実際に吐いた)	0□	1□	2□	3□	4□
食欲不振 (通常の食欲)	0□	1□	2□	3□	4□ (食欲が全くない)
便秘	0□	1□	2□	3□	4□
口の痛みやゆき	0□	1□	2□	3□	4□
脱気	0□	1□	2□	3□	4□
動きにくさ	0□	1□	2□	3□	4□
上記以外の症状があれば記入し、この3日間、どれくらい生活に支障があったか一つだけチェックしてください。					
1. _____	0□	1□	2□	3□	4□
2. _____	0□	1□	2□	3□	4□
3. _____	0□	1□	2□	3□	4□

この3日間についてお聞きします

※以下は、現在のあなた自身の気持ちに関することや周りの方に関することについてお聞きします。

	全くなし (0%)	たまに (25%)	ときどき (50%)	たいてい (75%)	いつも (100%)
Q3. 病気や治療のことで不安や心配を感じていましたか？	0□	1□	2□	3□	4□
Q4. 家族や友人は、あなたのことで不安や心配を感じていた様子でしたか？	0□	1□	2□	3□	4□
Q5. 気分が落ち込むことはありましたか？	0□	1□	2□	3□	4□
Q6. 気持ちは穏やかでいられましたか？	0□ (とても穏やか)	1□	2□	3□	4□ (全く穏やかでない)
Q7. あなたの気持ちを家族や友人に十分に分かってもらえましたか？	0□	1□	2□	3□	4□
Q8. 治療や病気について、十分に説明がされましたか？ ※ご自身の病気やその治療に対する説明が今まで十分されてきているかを意味します	0□ (十分説明を聞けた)	1□	2□	3□	4□ (もっと説明を聞きたい)
	全て対応されている/ 問題がない	大部分対応されている	一部対応されている	ほとんど対応されていない	全く対応されていない
Q9. 病気のために生じた、気がかりなことに対応してもらえましたか？ (経済的なことや個人的なことなど)	0□	1□	2□	3□	4□
	自分で	友人や家族に手伝ってもらって	スタッフに手伝ってもらって		
Q10. どのようにしてこの質問票に答えましたか？	□	□	□		

IPOSを使用した評価について

- 評価者について
患者版は**患者が自分で記入**するか、患者の発言を医療者や家族が記入を補助する
患者自身が評価困難の場合、無理せず医療者評価をする
- スコアリングについて
0～4の5段階評価で**迷ったら数字の大きい方**を選ぶ
各項目のスコアが「0」になることが目的ではない
記入しにくい項目や判断が難しい場合は、無理せず「評価不能」とする



IPOSの評価方法

Q1.患者が最も問題に思っていること、 気がかりを尋ねる

Q1.この3日間、主に大変だった
ことや気がかりは何でしたか？

Q1 この3日間、主に大変だったことや気がかりは何でしたか？

1.
2.
3.

※この項目は、**患者さん
の言葉をそのまま**記入

※**答えにくい場合や
病状変化時は、回答
する時点の状況を評
価して構わない**

※**患者のいちばんの気
がかりを知り、早急
に取り組むべき問題
を把握する**

IPOS聞き取りの実際

Q1. この3日間、主に大変だったことや気がかりは何でしたか？

1. 嘔気が出てきたこと
2. 家に帰るとあと大丈夫か。段取りは進んでいるから、帰ってみたいとも思う。外は歩行器があった方がしんどいとRHと言われた。
3. 前半、定が進捗。後半、遅れ

Q1で患者さんの気がかりについて確認。

この患者さんは退院に向けて準備をしているところで、嘔気が出て不安になっていることが分かる。

Q2.身体症状

Q2.以下はあなたが経験したかもしれない症状のリストです。それぞれの症状について、この3日間、どれくらい生活に支障があったか最もよく表しているものに一つだけチェックしてください。

※どのくらい身体的に、または気持ちのうえで負担となっているかをお答えください。

	全く支障は なかった	少しあった (気にならな かった)	中くらい あった (いくらか 支障がでた)	とても あった (大きな支障 がでた)	耐えられないく らいあった (他のことを考えら れなかった)
痛み	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
息切れ (息苦しさ)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
力や元気が出ない感じ (だるさ)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
吐き気 (吐きそうだった)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
嘔吐 (実際に吐いた)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>

上記以外の症状があれば記入し、この3日間、どれくらい生活に支障があったか一つだけチェックしてください。

1. _____	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
2. _____	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
3. _____	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>

※症状により、
生活に支障があるほど
大きい数字にチェック
される

※「2」以上の評価の場合、
薬の調節や何らかの対応が
必要と判断する
評価に迷った時は、大きい
数字で評価する

※患者さんの状態に応じて
一部の項目のみ使用も可

←10項目以外の症状があれば
記入して評価する

IPOS聞き取りの実際

Q2. 以下はあなたが経験したかもしれない症状のリストです。それぞれの症状について、この3日間、どれくらい生活に支障があったか最もよく表しているものの一つだけチェックしてください。

	全く支障は なかった	少しあった (気にならな かった)	中くらい あった (いくらか支 障がでた)	とても あった (大きな支障 が出た)	耐えられない くらいあった (他のことを考え られなかった)	評価不能
痛み	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
息切れ (息苦しさ)	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
力や元気が出ない感じ (だるさ)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
吐き気 (吐きそうだった)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
嘔吐 (実際に吐いた)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
食欲不振 (通常の 食欲)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
便秘	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
口の痛みや濁き	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
眠気	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
動きにくさ	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>

嘔気、嘔吐、食欲不振の症状が「2」になっており、その理由が書かれている



苦痛の理由を聴いて書き込んでおくことがとても大事

Q3～Q5.心理症状、不安・心配

この3日間についてお聞きします

※以下は、現在のあなた自身の気持ちに関することや周りの方に関することについてお聞きします。

	全くなし (0%)	たまに (25%)	ときどき (50%)	たいてい (75%)	いつも (100%)
Q3. 病気や治療のことで不安や心配を感じていましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
Q4. 家族や友人は、あなたのことで不安や心配を感じていた様子でしたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
Q5. 気分が落ち込むことはありましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>

Q3以降(裏面)の質問をする際には、「ここからはお気持ちのことやご家族のことを聞かせていただきます。答えにくい時には無理なさらなくてくださいね」など、一言伝えてから質問するとよいでしょう。



※「2」以上の評価の場合、何らかの対応が必要と判断する

※家族は患者に最も近い介護者とする

家族が複数いる場合、主たる介護者について記入する

(余白に家族や友人が誰を指すのか記入しておく)

Q6～Q9.スピリチュアリティ、関係性、説明

	いつも (100%)	たいてい (75%)	ときどき (50%)	たまに (25%)	全くなし (0%)
Q6.気持ちは穏やかでいられましたか？	0 <input type="checkbox"/> (とても穏やか)	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/> (全く穏やかでない)
Q7.あなたの気持ちを家族や友人に十分に分かってもらえましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>
Q8.治療や病気について、十分に説明がされましたか？ ※ご自身の病気やその治療に対する説明が今まで十分されてきているかを意味します	0 <input type="checkbox"/> (十分説明を聞いた)	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/> (もっと説明を聞きたい)
	全て対応されている/ 問題がない	大部分対応されている	一部対応されている	ほとんど対応されていない	全く対応されていない
Q9. 病気のために生じた、気がかりなことに対応してもらえましたか？ (経済的なことや個人的なことなど)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>

※Q6は、スピリチュアリティに関する項目である。患者から「穏やかでない」と回答があった場合には、どのような気持ちで過ごされているのか尋ねる

※Q8は、患者の治療や病気に対する医療者の説明が今までに十分されているかを尋ねている項目である

「いつも」～「全くなし」は「説明を十分聞いた」～「説明を聞きたい」と置き換えると解釈しやすい

IPOS聞き取りの実際

◆番号に☑をつけるだけでなく理由を聞き取る

◆ベッドサイドで評価用紙を一緒に確認しながら看護師が聞き取る
(コミュニケーションツール)



IPOS

Q1. この3日間、主に大変だったことや気がかりは何でしたか？

1. 嘔気が出てきたこと
2. 家に帰るとあと大丈夫か。段取りは進んでいるから、1席で済むとも思いますが、外に歩行器があった方がしんどいかなと悩んでいます。前予定が延期、後未定です。
3.

Q2. 以下はあなたが経験したかもしれない症状のリストです。それぞれの症状について、この3日間、どれくらい生活に支障があったか最もよく表しているもの一つだけチェックしてください。

	全く支障は なかった	少しあった (気にならな かった)	中くらい あった (いくらか支 障がでた)	とても あった (大きな支障 が出た)	耐えられない くらいあった (他のことを考え られなかった)	評価不能
痛み	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
息切れ (息苦しさ)	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
力や元気が出ない感じ (だるさ)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
吐き気 (吐きそうだった)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
嘔吐 (実際に吐いた)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
食欲不振 (通常の食欲)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
便秘	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
口の痛みや渴き	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
眠気	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>
動きにくさ	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	5 <input type="checkbox"/>

上記以外の症状があれば記入し、この3日間、それぞれの症状について、あなたはどれくらい生活に支障があったか一つだけチェックしてください。

1. _____ 0 1 2 3 4 5
2. _____ 0 1 2 3 4 5
3. _____ 0 1 2 3 4 5

IPOSの結果はカンファレンスで共有する

Q2の食欲不振と動きにくさも「2」で中くらいとチェックしているんですね

動きにくさもあるようなので、症状を緩和してリハビリが続けられるようにしていくことも必要ですね。



Q1で、吐き気がでてきたこと、家に帰ったあとのことが気がかりになっています。

Q2でも吐き気と嘔吐が「2」にチェックされていました。

吐き気や嘔吐の症状緩和をしていき、少しずつでも好きなものが食べられるように考えていきましょう。

評価して終わるのではなく、カンファレンスを通して個別的な看護計画につなげましょう。また、医師など他職種とも共有しましょう。

IPOSを使用することの意義

IPOSを使用したことによる変化

～看護師への影響～

全人的アセスメントが
できるようになった

苦痛のアセスメントや
対応が早くなった

家族との
コミュニケーションが
上手くなった

コミュニケーションに
自信が持てた



患者さん中心の
カンファレンスになった

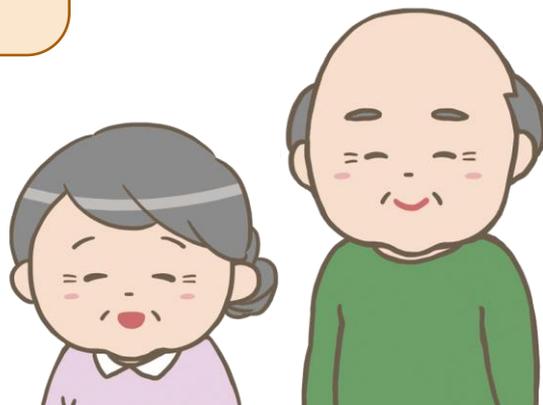
看護に対する責任感が
向上した

IPOSを使用したことによる変化

～患者への影響～

自分の気持ちや希望を
医療者に話せた

自分のことを話せて、
分かってもらって、
気持ちが楽になった



看護師がゆっくり話を
聴いてくれると思えた

自分の大切なことや
希望に気づけた

このセクションの復習①

1. PRO評価ツールの1つであるIPOSは、()なアセスメントができる。
()に入るのは？
2. IPOSには患者さん本人が評価する()と、患者自身が評価困難な場合に医療者が評価する()がある。
()に入るのは？
3. 5段階評価で迷った時は、数字の【1.大きい方 2.小さい方】を選ぶ。
【 】内で正しいのは？

このセクションの復習②

4. 評価が()以上の場合、薬の調整や何らかの対応が必要と判断する。
()に入るのは？
5. 症状がある場合には、苦痛の()を聞くことが大切である。
()に入るのは？
6. IPOSを評価したあとは、()で結果を共有し、看護計画を立てる。
()に入るのは？

IPOSを評価するタイミング ～POIとAKPS～

病状の変化を捉えるツール

- IPOSは入居時と病状に変化があったときに評価する
- 病状の変化を捉えるツールとしてPhase of illnessとAKPSがある



Phase of illness

病気の時期を「安定期」「不安定期」「増悪期」「死亡直前期」「死別期」に分け変化を評価する

1. 安定期

患者の問題や症状は確立されたケア計画によって適切にコントロールされている、かつ

- 症状コントロールや生活の質を維持するための今後の介入がすでに計画されている、かつ
- 家族/介護者の状況が比較的安定しており、新たな問題点はさしあたって見られない

2. 不安定期

ケア計画の迅速な見直しあるいは迅速な治療が以下の理由のため必要である

- 現行のケア計画では予期していなかった新たな問題が患者に生じた、または
- 患者のもともと抱えていた問題の程度が急激に悪化している、または
- 家族/介護者の置かれた状況が急に変化し、患者のケアに影響を及ぼしている

3. 増悪期

ケア計画は予期されたニーズに対処できているが、以下の理由のため定期的な見直しが必要である

- 患者の全般的な機能が低下してきている、かつ
- 既存の問題が次第に悪化してきている、または
- 患者は新しいが予期されていた問題を来している、または
- 家族/介護者のつらさが次第に悪化して患者ケアに影響を及ぼしている

4. 死亡直前期

死が数日以内に差し迫っている可能性が高い

5. 死別期 – 死後のサポート

- 患者が死亡した
- 家族/介護者に提供した死別サポートは、死亡した患者のカルテに記録される

AKPS (Australian-modified Karnofsky PS)

正常の活動が可能。特別な看護が必要ない。	正常。臨床症状なし	100
	軽い臨床症状はあるが、正常活動可能	90
	かなり臨床症状あるが、努力して正常の活動可能	80
労働は不可能。自宅で生活できる。様々な程度の介助を必要とする。	自分自身の世話はできるが、正常の活動・労働は不可能	70
	自分に必要なことはできるが、ときどき介助が必要	60
	病状を考慮した看護および定期的な医療行為が必要	50
身の回りのことが自分でできない。施設・病院の看護と同等の看護を必要とする。疾患が急速に進行している。	動けず、適切な医療および看護が必要	40
	全く動けず、入院が必要だが死はさしさまっていない	30
	非常に重症、入院が必要で精力的な治療が必要	20
	死期が切迫している	10

患者の身体機能を評価する。10～100点で、高いほど身体機能は良い

患者の状態

評価開始

AKPS

POI

POI、AKPSは**毎日評価**する
毎日評価する中で、**POI、AKPSに変化があった時にはIPOSの評価も行う**

IPOS

IPOS

IPOS

IPOS

90

70

80

50

40

10

安定期

不安定期

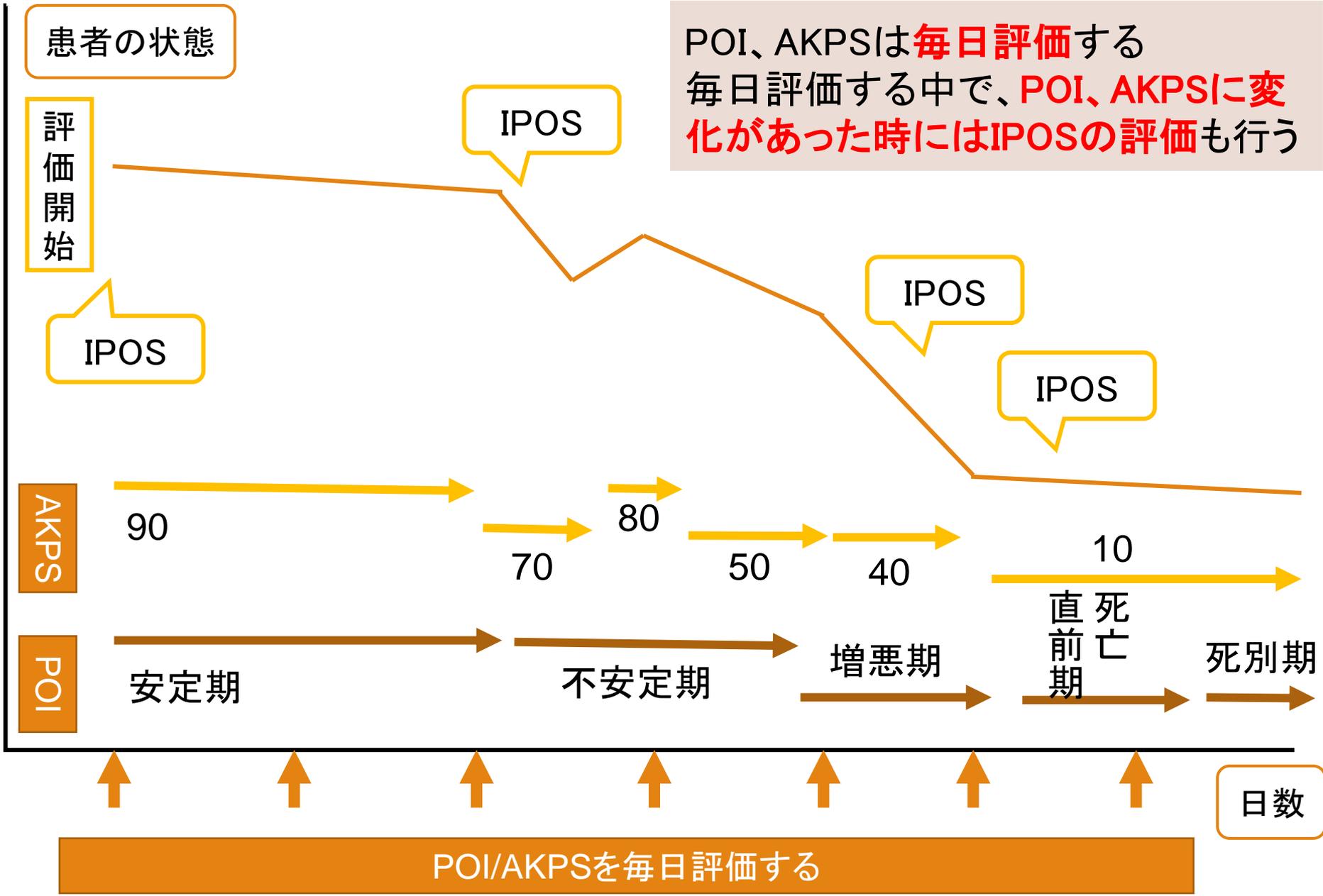
増悪期

直前期
死亡

死別期

日数

POI/AKPSを毎日評価する



患者の状態

評価開始

POI、AKPSは**毎日評価**する
毎日評価する中で、**POI、AKPSに変化があった時にはIPOSの評価**も行う

IPOS

IPOS

IPOS

IPOS

AKPS

40

50

70

30

10

POI

不安定期

安定期

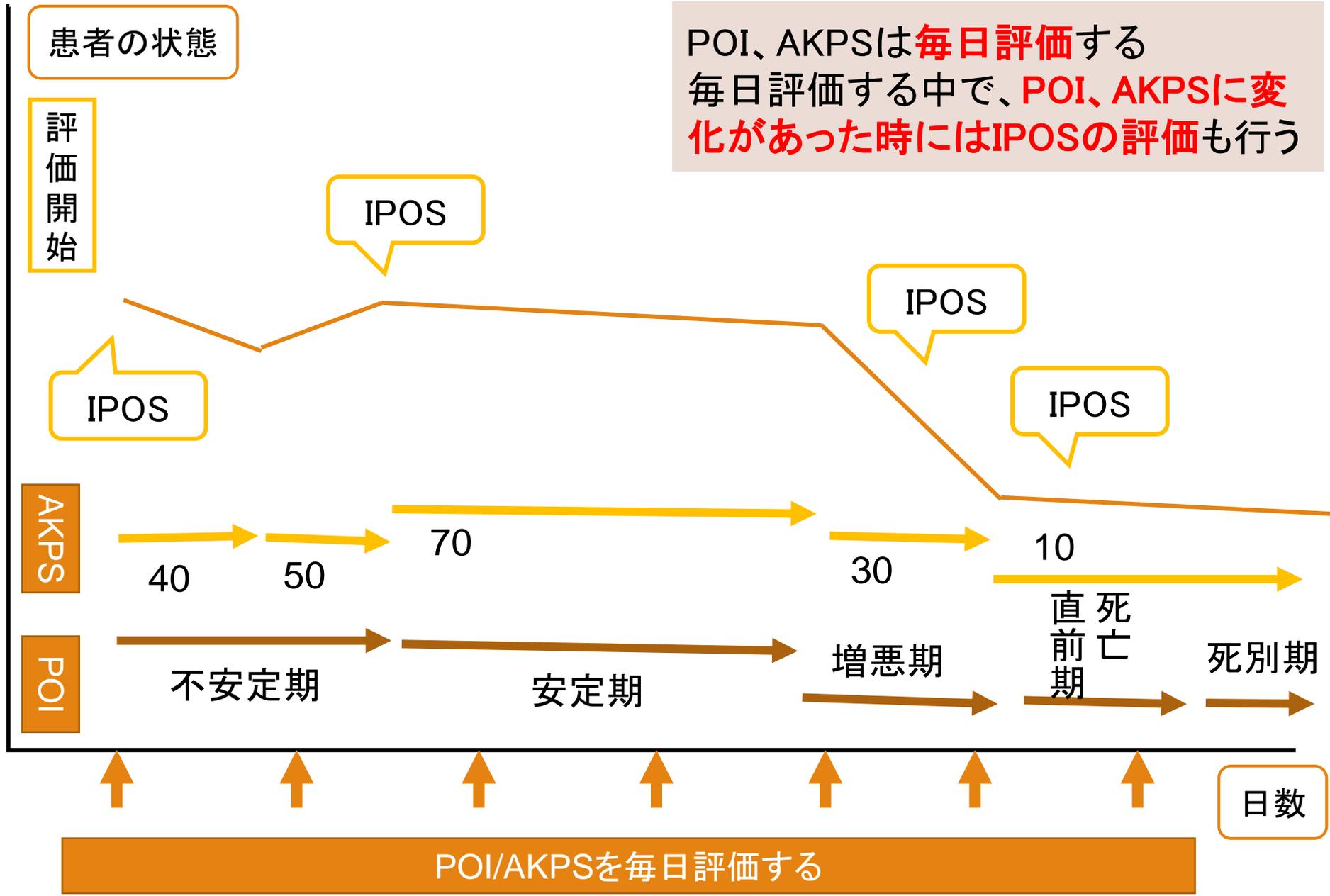
増悪期

直死
前亡
期

死別期

日数

POI/AKPSを毎日評価する



このセクションの復習

1. IPOSは入所時と()に評価する。
()に入るのは？
2. 病状の変化を捉えるツールとして()と
()がある。
()に入るのは？
3. POI、AKPSは【1.毎日 2.毎週】評価し、変化があった場合にIPOSを評価する。
【 】内で正しいのは？

本研究の目的

ホスピス住宅における患者報告型アウトカムの臨床活用プログラムの実施可能性を検討するためのパイロット調査

● 目的

ホスピス住宅において、患者報告型アウトカムを用いた尺度を日常的に使用することが、患者さんのQOLや医療者のコミュニケーションの質の向上に有用であるかを検証する研究の準備を行う



研究の流れ(全体像)

準備期間

IPOS、POI/AKPSを使用する練習を行う



活用期間

POI/AKPSを毎日評価する
状態変化時にはIPOSを評価する

準備期間

1週目

POI/AKPS、IPOS活用のための勉強会 参加



2週目

毎日POI/AKPSを評価する



3週目

毎日POI/AKPSを評価する
看護師1名につき最低1名の入居者さんのIPOS
を評価する

活用期間

入居初日

POI/AKPSを評価、IPOSを聴取する
評価結果をスタッフで共有、IPOSスコア2以上の項目は
カンファレンスで話し合い看護計画を立てる

毎日

POI/AKPSを評価する(変化がある場合下へ)

POI/AKPSに変化がある場合

IPOSを聴取する
評価結果をスタッフで共有、IPOSスコア2以上の項目は
カンファレンスで話し合い看護計画を見直す

こんな時どうする？



- 認知症やせん妄の患者さんの評価が難しい
 - 無理に患者さんに評価してもらわず、**スタッフ評価**を活用しましょう。評価ができない項目は「**評価不能**」としましょう。
- 評価の方法などで困ったことが起こった
 - **マニュアルや動画**を見直してみるか、解決しなければ**施設のリーダーに相談**しましょう。
- 状態が変化した当日はバタバタしていてIPOSの評価はできない・・・
 - 当日にこだわらず、**数日中に評価**できればよいです。

実際に
評価してみましよう

事例

【患者】Aさん 68歳 女性

【診断】大腸がん(StageⅣ)腹膜播種 肺転移 肝転移

【現病歴】

積極的治療は行わず、外来に通院しながら自宅で療養されていた。2週間前から腹部膨満感や食欲低下、悪心が続いた。嘔吐と腹痛、ADLの低下により自宅での療養が困難となり、入所の運びとなる。

【生活歴】

夫(農家)と同居。3人の子供は独立。結婚後、嫁ぎ先の農家を手伝ってきた。夫は外来通院中も送り迎えをするなど協力的。兄弟はおらず、両親・義両親は他界。



事例

【入所時の患者の状況】

オピオイドの持続静脈注射、制吐剤を使用。
経口摂取は中止し輸液管理をしている。

本人と夫へは、予後不良で今後も病気が進行していくこと、
症状緩和を目的とする旨説明されている。

腹痛はNRSで2～4/10、レスキューの使用は4～5回/日。
悪心はあるが、現在嘔吐なし。両下肢浮腫軽度あり。

トイレ歩行以外はベッド上で臥床し過ごしている。
排便は3日に1回程度。口渇や口腔内の訴えはなし。

事例

「私は長くないって覚悟ができています。

前より動けなくなってきたから、いつかトイレにも行けなくなるんじゃないかって心配です。」

「時々おなかが痛くなって動けないときがありますが、以前よりはいいです。」

「入所してからだるい感じがして夜も良く眠れません。どうにかならないでしょうか」と話す。

夫は面会時、

「できる限り辛い思いをせずに過ごさせてやりたいです。家では調子が悪くなるのではないかと毎日心配でした。」と話した。

AKPS/POI

IPOSを評価してみましよう。

Phase of illnessをつけてみましょう

1. 安定期

患者の問題や症状は確立されたケア計画によって適切にコントロールされている、かつ

- 症状コントロールや生活の質を維持するための今後の介入がすでに計画されている、かつ
- 家族/介護者の状況が比較的安定しており、新たな問題点はさしあたって見られない

2. 不安定期

ケア計画の迅速な見直しあるいは迅速な治療が以下の理由のため必要である

- 現行のケア計画では予期していなかった新たな問題が患者に生じた、または
- 患者のもともと抱えていた問題の程度が急激に悪化している、または
- 家族/介護者の置かれた状況が急に変化し、患者のケアに影響を及ぼしている

3. 増悪期

ケア計画は予期されたニーズに対処できているが、以下の理由のため定期的な見直しが必要である

- 患者の全般的な機能が低下してきている、かつ
- 既存の問題が次第に悪化してきている、または
- 患者は新しいが予期されていた問題を来している、または
- 家族/介護者のつらさが次第に悪化して患者ケアに影響を及ぼしている

4. 死亡直前期

死が数日以内に差し迫っている可能性が高い

5. 死別期 – 死後のサポート

- 患者が死亡した
- 家族/介護者に提供した死別サポートは、死亡した患者のカルテに記録される

AKPSをつけてみましょう

正常の活動が可能。特別な看護が必要ない。	正常。臨床症状なし	100
	軽い臨床症状はあるが、正常活動可能	90
	かなり臨床症状あるが、努力して正常の活動可能	80
労働は不可能。自宅で生活できる。様々な程度の介助を必要とする。	自分自身の世話はできるが、正常の活動・労働は不可能	70
	自分に必要なことはできるが、ときどき介助が必要	60
	病状を考慮した看護および定期的な医療行為が必要	50
身の回りのことが自分でできない。施設・病院の看護と同等の看護を必要とする。疾患が急速に進行している。	動けず、適切な医療および看護が必要	40
	全く動けず、入院が必要だが死はさしさまっていない	30
	非常に重症、入院が必要で精力的な治療が必要	20
	死期が切迫している	10

患者が最も問題に思っていること、 気がかりを尋ねる

Q1. この3日間、患者さんにとって主に大変だったことや
気がかりは何でしたか？

1. 前より動けなくなってきた
2. だるい感じがして夜も良く眠れない
3. トイレに行けなくなるかもと思うと心配になる

身体症状をスコアリングしてみましょう

Q2. この3日間、以下の症状のそれぞれについて、患者さんはどれくらい**生活に支障**があったか最もよく表しているものに一つだけチェックしてください。

	全く支障は なかった	少しあった (気にならな かった)	中くらい あった (いづらか支 障がでた)	とても あった (大きな支障 が出た)	耐えられないく らいあった (他のことを考え られなかった)	評価不能 (例:昏睡)
痛み	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
息切れ(息苦しさ)	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
力や元気が出ない感じ(だ るさ)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input checked="" type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
吐き気 (吐きそうだった)	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
嘔吐 (実際に吐いた)	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

身体症状をスコアリングしてみましょう

	全く支障は なかった	少しあった (気にならな かった)	中くらい あった (いくらか支 障がでた)	とても あった (大きな支障 が出た)	耐えられないく らいあった (他のことを考え られなかった)	評価不能 (例:昏睡)
食欲不振	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
便秘	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
口の痛みや渴き	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
眠気	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
動きにくさ	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

心理症状、不安、心配 をスコアリングしてみましょう

この3日間についてお聞きします

	全くなし	たまに	ときどき	たいてい	いつも	評価不能 (例:昏睡)
Q3. 患者さんは病気や治療のことで不安や心配を感じていましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q4. 患者さんの家族や友人は、患者さんのことで不安や心配を感じていた様子でしたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q5. 患者さんは気分が落ち込むことはありましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

スピリチュアリティ、関係性、説明 をスコアリングしてみましょう

この3日間についてお聞きします

	いつも	たいてい	ときどき	たまに	全くなし	評価不能 (例:昏睡)
Q6.患者さんは気持ちが穏やか でいられましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input checked="" type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q7.患者さんは気持ちを家族や 友人に十分に分かってもらえま したか？	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q8.患者さんは治療や病気につ いて、十分に説明がされました か？	0 <input checked="" type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Q9.患者さんは病気のために 生じた、気がかりなことに対 応してもらえましたか？	0 <input type="checkbox"/>	1 <input type="checkbox"/>	2 <input checked="" type="checkbox"/>	3 <input type="checkbox"/>	4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

IPOSを使用して
患者さんの体験を聴くことは、
質問することや
用紙に✓することが目的ではなく、
患者さんの苦痛や気がかりを捉え
質の高い緩和ケアを提供することが大切です。

ご活用いただければ幸いです。
ご意見やご質問はいつでもお待ちしております。



セクションの復習—回答—

～患者評価の必要性～

1. 「緩和ケアでは生命を脅かされている患者さん・家族の（**苦痛**）を予防し和らげることでQOLを向上する。」
2. 痛みなどの症状や気がかりは【1.過大評価 **2.過小評価**】されるため、【1.客観的評価 **2.主観的評価**】が大切だ。
3. 他人の解釈を介さず、患者から直接得られた健康状態に関する報告を（**患者報告型アウトカム（PRO）**）という。

セクションの復習①—回答—

～IPOSについて～

1. PRO評価ツールの1つであるIPOSは、(**全人的**)なアセスメントができる。
2. IPOSには患者さん本人が評価する(**患者版**)と、患者自身が評価困難な場合に医療者が評価する(**医療者版**)がある。
3. 5段階評価で迷った時は、数字の【**1.大きい方**】 2.小さい方】を選ぶ。
【 】内で正しいのは？

セクションの復習②

～IPOSについて～

4. 評価が(**2**)以上の場合、薬の調整や何らかの対応が必要と判断する。
5. 症状がある場合には、苦痛の(**理由**)を聞くことが大切である。
6. IPOSを評価したあとは、(**カンファレンス**)で結果を共有し、看護計画を立てる。

セクションの復習

～IPOSを評価するタイミング～

1. IPOSは入所時と(**病状に変化があった時**)に評価する。
2. 病状の変化を捉えるツールとして(**Phase of illness**)と(**AKPS**)がある。
3. POI、AKPSは【**1.毎日** 2.毎週】評価し、変化があった場合にIPOSを評価する。